

別紙 発表者(令和4年度チャレンジャー)

【敬称略、五十音順】

<p>【誰もが自分らしく輝くメンタルサポートサービス】 青木 洋子</p>
<p>【事業の概要】 本当にありたい自分の姿や叶えたいことなど、自身の可能性への気づきを対話形式で促すことで、自分らしく輝くサポートを行うオリジナルセラピーを提供する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 自身が自分らしく生きる方法が分からなくなった際、「こころ」について学んだことで本来の自分を取り戻した経験を活かして、同じように悩む方の力になりたいと考えたこと。</p>
<p>【想いをつなぐキャリアコンサルティングサービス】 扇 武史</p>
<p>【事業の概要】 後継者難の企業の社員に対してキャリアコンサルティングを行うことで、社内から次世代を担う後継者を発見し、次期後継者候補としての育成支援を行う。</p> <p>【取り組むきっかけ】 後継者難で廃業する企業が増加している現状を受け、自身の強みであるキャリアコンサルティングの考え方を応用することで、廃業を減らすことに貢献したいと考えたこと。</p>
<p>【医療・介護部門のひとり人事「POST ONE」】 小関 昇平</p>
<p>【事業の概要】 医療・介護部門の採用、教育、定着といった人材に関する課題を「ひとり人事」となってサポートするサービス。</p> <p>【取り組むきっかけ】 自身が作業療法士として病院に勤務している間、臨床以外の負担や悩みを抱え、疲弊している医療・介護従事者を見てきたことを受けて、医療・介護従事者がより臨床や介護に集中できる環境を提供したいと考えたこと。</p>
<p>【NO,Barista.No,Machine.But,Enjoy good coffee!「BURST」】 酒井 涼旦郎</p>
<p>【事業の概要】 珈琲を瓶に充填し、デザイン性の高いラベルで販売・提供することで、音楽シーンなどのこれまで珈琲が入り込めなかった場面を中心に、新たな顧客体験価値を創出する。</p> <p>【取り組むきっかけ】 場所や環境にとらわれず、もっと手軽に美味しい珈琲を味わうことができないかと考えたこと。</p>

【地域のお店とイベントのマッチングサービス「Matebox」】

田中 雄大

【事業の概要】

「地域のお店」と「地域の若者が企画するイベント」をマッチングするサービス。店舗の来客数の増加やイベント企画を通じた地域の交流を促進することにより、地元をより楽しんでもらう場を創出し、地域の活性化を目指す。

【取り組むきっかけ】

これまでローカル店舗の情報発信に重点を置き、「店舗の認知向上」という課題を解決するサービスの開発を進めてきた中で、地域のお店に行かない理由の調査を行った際に、多くの方から行くきっかけがないという回答を受け、「動機」の課題の解決を行いたいと考えたこと。

【SDGs授業コンテンツのマッチングポータル「未来創造 SDGsチャンネル」】

葉倉 峰雄

【事業の概要】

SDGsに積極的に取り組んでいる企業と次世代を担う学生を繋ぎ合わせるマッチングポータルを提供し、企業の新たな製品・サービスの展開やSDGs活動を支援するサービス。将来的には、地域企業と連携して教育機関に対する授業コンテンツを提供することで差別化を図る。

【取り組むきっかけ】

端材を使った工作体験など、SDGsに関するワークショップを合計700名以上に対して企画・運営してきた中で、学校などの教育機関と企業が連携する機会が少ないことや交流のハードルが高いことなどの課題を感じ、その解決を行う仕組みを構築したいと考えたこと。

【D2C ゴルフブランド「GOLFWOOD」】

堀口 幸憲

【事業の概要】

機能性を追求した今までにないスタイリッシュなデザインの革ゴルフアクセサリブランド「GOLFWOOD」を立ち上げ、一般消費者向けにゴルフクラブカバーやゴルフボールポーチ等の販売を行う。

【取り組むきっかけ】

自分自身もゴルフをプレーすることが好きで、好きなことをビジネスとして展開したいと考えたこと。

【アバターを活用したオンラインカウンセリング「vroom Health」】

諸戸 隆宏

【事業の概要】

顔を認識しアバターに反映する技術を活用することで、顔を出さずに自然なコミュニケーションを取ることができるオンラインカウンセリングサービス。

【取り組むきっかけ】

前職でメンタルの不調が原因で休職される方が多いことに課題を感じ、気軽にメンタルケアができるサービスが必要であると考えたこと。